

11月は、物語の主題、随筆の読解、詩の読解の1回目と様々なジャンルの文章に取り組みます。それぞれの文章でおさえておくべきポイントをしっかりと確認して読解にチャレンジしていきましょう。

物語では、これまでのまとめとして「主題」＝読者に伝えたい事、物語の中心になることを読み取ります。場面や心情の変化に注目して、文章全体の内容をとらえていくようになることが目標です。

随筆では、体験と感想がそれぞれどこに書かれているか、どのような内容かを読み分けながら全体をとらえます。細部表現も手がかりにしながら取り組みましょう。

詩では、基本的な詩の知識と表現技法を身につけて、読解に役立てていくことが目標です。

また語句単元ではことわざ・慣用句・故事成語を通して、言葉の知識を深めていくとともに、品詞の学習が始まります。それぞれの品詞がどのような働きを持った言葉であるのか、テキストの説明をじっくりと確かめながら、身につけていきましょう。

覚えることがたくさんあって大変かもしれませんが、どれも大切なものばかりです。じっくりと取り組んで確実に身につけていきましょう。

◆第10回 物語 主題／慣用句・ことわざ・故事成語

物語のまとめとして「主題」に取り組みます。「主題」は文章中に明示されているものではなく、話の展開や心情の変化など、様々な手がかりをもとに読み取っていくものとなります。皆さん自身の物語を読んだ後の率直な思い（感想）も主題の理解につながることもありますので、「国語の読解」と身構えすぎずにいろいろな文章に触れてみてください。

「読む」「書く」ツールでは「慣用句・ことわざ・故事成語」を学習します。どれがことわざで、どれが慣用句かと、それぞれを分類する必要はありません。言葉の形や意味・使い方をしっかりと覚えていくようにしましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション シナジー

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第11回 随筆 体験と感想①／単語の分類

今回から「随筆」の読解に取り組みます。筆者が実際に体験したことを文章にした随筆では、「体験」を書いている部分と「感想」を書いている部分を読み分けながら読み進めていくことが大切です。どういった内容が「体験」・「感想」になるのかを学んで読解に役立てていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「単語の分類」を学習します。十種類ある品詞について、一通り説明をして、分類を考えていきますが、第12回以降で、それぞれの品詞について改めて学習するので、今回まとめた内容についてもたびたびふり返りながら学習を進めていきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～②

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～②

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十一回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第12回 随筆 体験と感想②／動詞・形容詞・形容動詞

引き続き、随筆の読解に取り組みます。今回は特に「感想」の部分に注目しながら、体験や感想の内容をまとめていきます。細部表現が表している内容にも注意して取り組みましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「動詞・形容詞・形容動詞」を学習します。いずれも述語になる言葉となる品詞ですが、「活用する」という点も他の品詞と異なる大きな特徴です。特に形容詞と形容動詞の活用は、他の品詞と区別するときにも使う知識になるので、しっかりと覚えておきましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～2

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十二回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章²・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第13回 詩 形式と表現技法／名詞・副詞・連体詞

今回から詩の学習となります。詩は短い文章形式ですが、比喩表現が多用されていたり、「何が」「どうした」が読み取りにくくなっていたりするなど、苦手とする人も多い単元です。詩の基本知識を身につけ、基本となる詩の読解を意識すれば読みやすくなるはずです。また、詩は「韻文」と言って、口に出して読みながらその「余韻」を楽しんでいくものでもあります。「詩は苦手」と身構えず、まずは口に出して読んで、詩を味わってみると良いですよ。

また、「読む」「書く」ツールでは「名詞・副詞・連体詞」を学習します。名詞は主語になる言葉、副詞・連体詞は修飾語のみでつながる言葉と、それぞれに役割があります。前回学んだ知識も使いながら、それぞれの品詞について学んでいきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・詩Ⅰ：1～2、詩Ⅱ：1～2、詩Ⅲ：①～②

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・¹～³

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十三回

④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・詩Ⅰ：1～6、詩Ⅱ：1～4 ※動画内で解説しています。

web教室◆日能研からのお知らせ 11月号 5年生 算数

5年生後期で学習する単元は、入試問題でもよく出題される単元ばかりです。11月主に学習する「速さ」の単元は文章をしっかりと読んで、条件をおさえることが必要です。また、長さや時間の単位換算も大切です。しっかりと取り組んでがんばっていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第10回 平面図形 ～相似比と面積比～

大きさはちがうが、形は同じ図形どうしの関係を「相似」といいます。大きさがちがうことになるので、2つの図形の大きさの関係を表わす必要があります。長さについて表したものが「相似比」となり、そこから発展し、面積について表したものが「面積比」となります。相似な図形は平行の関係が見えたり、直角三角形が見えたりすると、かなりの確率で出てきます。第9回で学習した底辺比を利用する融合問題も多く出題されますので、合わせて学習していきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～③

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ③, ⑤

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

◆第11回 速さ ～速さと単位～

「速さ」とは、単位時間（1秒、1分、1時間）あたりに進む道のりのことです。基準を明確にすることで、比べることができます。速さの三公式も意味をしっかりと理解したうえで、自由に扱えるようにしましょう。また、時間の単位換算にも注意してください。1時間＝60分であることは理解していても、よく間違えますよ。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術①～⑤

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ②, ③

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ③, ④

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑤

◆第12回 速さ ～進行グラフに整理する～

動きのあるものを理解するのは難しいですね。それを理解するためには、整理をすることが大切になります。そのための大きなツール（道具）が進行グラフです。進行グラフを読み取ること、進行グラフをかくことでその理解が一気に進みますので、きちんと習得していきましょう。また、平均の速さも学習しました。一定の速さで出発地から目的地まで進んだとしたら・・・ということ「平均の速さ」はあらわしています。今まで学習してきた平均とは少し異なることもおさえておきましょう。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③ 知識技術①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法②, ④

栄冠への道・・・学び直し③①, ③

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

◆第13回 速さ 旅人算 ～旅人算～

第11回・第12回と速さを学んできましたが、いずれも1つのものが動いていました。今回は2つ以上のものが動きます。すると、2つのへだたりはどのように変化するのかを考えなければなりません。同じ方向に進むときは速さの差に注目し、反対の方向に進むときは速さの和に注目することになります。その様子を明らかにすることが大切になります。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑧

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑧

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①～④

栄冠への道・・・学び直し③①～④

ひとりで問題と向きあうための準備①～⑤

web教室◆日能研からのお知らせ 11月号 5年生 算数発展

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第10回 平面図形 ～相似比と面積比～

相似を使った問題は入試問題では頻出です。必ず定着をはかるようにしましょう。そのためには、平行線を見つけたら、「相似な三角形はないかな」と確認しながら図形をみていきましょう。

相似な三角形には「ピラミッド型」「砂時計型」があります。(6年生ではもう少し学習します) 対応する「辺の長さ」や「角の大きさ」はその都度確認していきましょう。

また、前回の単元との融合問題で、高さの等しい三角形においては、「底辺の長さの比」と「面積の比」が等しいことを利用する問題も多く出題されます。前回の復習も取り組んでおきましょう。

◆第11回 速さ ～速さと単位～

「速さ」の基本は、「単位時間あたり(1秒間、1分間、1時間)に進む道のりを求める」ことです。速さの三公式としてやみくもに暗記するのではなく、「分速50mということは、1分間に50m進むということなので・・・」と問われていることの意味を深めていくようにしましょう。

また、速さを苦手にする原因として、「単位換算」があります。0.2時間=分という換算はいつでもできますか?20分ではありませんよ!1時間=60分なので、0.2時間=0.2×60=12分です。ここを間違えると、考え方はあってはいるが・・・ということになります。間違えたときに、「なぜ間違えたのか」を確認していくことはとても大切になります。

◆第12回 速さ ～進行グラフに整理する～

「速さ」の難しさは、文章の読み取りの難しさが一因です。状況を整理するためのツールとして「進行グラフ」があります。進行グラフは動くようすを視覚的にとらえることができる優れものです。グラフの読み取りだけでなく、自分で「グラフを描く」練習もしておきましょう。

「平均の速さ」は間違いやすい問題なので、注意しておきましょう。「平均の速さ」とは、「もし、スタートからゴールまで、一定の速さで進んだと考えると、その速さは?」という意味です。2つの速さをたして、2で割ってはいけません。

◆第13回 速さ 旅人算 ～旅人算～

第11回・第12回と、「動くものが1つのとき」を考えてきました。今回のテーマである「旅人算」は「動くものが2つ以上のとき」を考えます。そうなれば、視点は「1つ」にしぼることはできません。今度は「へだたりの変化」に注目して取り組むようにしてください。「2人の進行方向が同じならば、速さの差。2人の進行方向が異なるならば、速さの和。」と暗記して終わり・・・ということがないように、しっかりと深く考えて取り組むようにしましょう。

web 教室◆日能研からのお知らせ 11月号 5年生 理科

日に日に秋も深まり、遠くに見える山々も澄みきった青空に映える季節となりました。そろそろこたつの恋しい季節となってきたのではないのでしょうか。11月の理科では、「中和と化学反応」「電流と回路」「電流の強さ」「電流と磁界」について学習します。

朝晩に冷え込む季節となりましたが、健康に十分気をつけて、楽しく学習しましょう。

◆第10回 中和と化学反応

水に様々な物質の溶けた液を水溶液といいます。この水溶液の性質のうち、酸性のものとアルカリ性のものを混ぜると、中性という別の性質になることがあります。このような反応を中和反応といいます。

中和反応が起こるとき、液体の中でどのような反応が起こっているのか考えてみよう。

- ① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - ・代表的な10種類の水溶液の性質を覚えよう。
 - ・中和反応の仕組みを理解しよう。
 - ・いろいろな中和反応の例を調べてみよう。
 - ・混合したものに、液体を混ぜて分離する方法について考えよう。
- ② 「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③ 「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第11回 電流と回路

電流が流れる道筋を回路といいます。どのような条件が成り立つと、回路に電流が流れるのでしょうか。また、電流が流れる仕組みはどのようなものなのでしょうか。

回路に流れる電流がどのように変化するのか、その変化のようすを考えてみよう。

- ① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - ・電流の流れる仕組みを理解しよう。
 - ・回路記号を覚えよう。
 - ・直列つなぎをしたとき、回路に流れる電流の強さがどのように変化するか理解しよう。
 - ・並列つなぎをしたとき、回路に流れる電流の強さがどのように変化するか理解しよう。
 - ・豆電球とソケットの仕組みを理解しよう。
 - ・ショート回路の電流の流れ方を理解しよう。
 - ・LEDと豆電球のちがいを調べてみよう。
- ② 「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第12回 電流の強さ

回路のつなぎ方を変えると、流れる電流の強さも変わります。そのとき、どのような規則に従って変化しているのでしょうか。

また、回路に流れる電流をじゃまする働き(電気抵抗)の大きなニクロム線をつないだとき、長さや太さを変えると、流れる電流が変化します。このとき、ニクロム線の太さ・長さで流れる電流の強さとの間にある関係を考えてみよう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・乾電池の直列つなぎでは、乾電池の個数と流れる電流が正比例していることを理解しよう。
- ・豆電球の直列つなぎでは、豆電球の個数と流れる電流が反比例していることを理解しよう。
- ・並列つなぎでは、豆電球を流れる電流が変化していないことを理解しよう。
- ・電流計や検流計の使い方を覚えよう。
- ・ニクロム線の太さや長さが増えた時、電気抵抗の値がどのように変化するのか調べよう。
- ・ニクロム線を並列つなぎや直列つなぎしたときの、流れる電流の変化を理解しよう。

② 「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第13回 電流と磁界

磁石が鉄をひきつけたりする力を磁力といいます。

この磁力が働いている所には磁力線というものがあります。そして、磁力線は磁石の周りだけでなく、電流の周りでも発生します。電流が流れるときに、どのように磁力が発生するのかを考えてみよう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・磁力線の向きと、方位磁針のN極の向きにどのような関係があるのかを理解しよう。
- ・針を磁石に変える方法や、地球が大きな磁石であることを理解しよう。
- ・電流の周りにできる磁界の向きを覚えよう(右ねじの法則)。
- ・電流の強さや、方位磁針の周りに置く導線の数によって、磁力がどのように変わるのか調べよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第10回 戦乱を終わらせた人たち

- ①では、織田信長がおこなったことについて学習します。重要事項を年代順に確認しましょう。
- ②では、豊臣秀吉がおこなったことについて学習します。とくに検地と刀狩について、その目的をしっかりと理解しておきましょう。
- ③では、徳川家康がおこなったことについて学習します。関ヶ原の戦いは今の岐阜県で戦われました。江戸幕府については次回で学習しますので、今回は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康がおこなったことについてきちんと整理しておいてください。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞日本史資料集 P22～P25、 P81(38)、P82(39)、P83(40)

◆第11回 強力な支配の中で生きた人びと

- ①では、江戸幕府による政治のはじまりについて学習します。江戸幕府の支配が確立していった過程を確認してください。
- ②では、江戸幕府による大名の支配について学習します。「主な大名の配置」という図を参照し、外様大名がどこに配置されていたのかを考えてみましょう。また参勤交代のしくみについて、「社会探検」を参照して、理解しましょう。
- ③では、江戸時代の身分制度について学習します。百姓のくらしはどのようなものであったか確認しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞日本史資料集 P26、P27、 P84(42)、P86(44)

◆第12回 国を閉ざした日本

①では、江戸時代の初期の外交について学習します。東南アジアの国々と朱印船貿易をおこなっていたことなどを、テキストで確認してください。

②では、外国との交流を制限したことについて学習します。テキストにある年表をもとに、制限を加えていく流れを頭に入れてください。また、いわゆる「4つの窓口」について、しっかりと覚えましょう。

③では、江戸時代に発達した文化について学習します。元禄文化、化政文化それぞれを代表する作品や芸能をしっかりと覚えましょう。江戸時代の後期には、コラムにある蘭学などの学問が発達します。これらの学問も大切です。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞ 日本史資料集 P28～P29、 P85(43)、 P90～P91(50)

◆第13回 ききんと改革

※この回の①、②、④の内容は関西の中学入試では出題されにくい単元です。

①では、享保の改革について学習します。徳川吉宗の政治について整理しておきましょう。

②では、寛政の改革について学習します。松平定信の政治について整理しておきましょう。

③では、江戸時代の産業と交通の発達とその背景について学習します。農具の名称と用途は必ず覚えましょう。また五街道の名称を覚えるとともに、関所の役割、いわゆる「入鉄砲と出女」の内容についてテキストで確認しておきましょう。

④では、天保の改革について学習します。水野忠邦の政治について整理しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞ 日本史資料集 P28～P31、 P87(45)、 P88(47)、 P89(48)・(49)、 P92(51)